

都市再生整備計画 フォローアップ報告書
奥の細道むすびの地周辺地区

平成27年8月

岐阜県大垣市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	大垣観光ボランティアガイド案内人数	人/年	12,570	18,000	9,495	確定 見込み ●	×	あり なし ●	5,947	H27年 6月	×	評価値はH15～H24の実績に基づき算出した推計値であったため、H26の実測値(確定値)と乖離が生じた。 <input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input checked="" type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	東日本大震災以降の団体旅行の低迷や、スマートフォン等の普及による観光客の情報収集の多様化によって、観光ボランティアガイドの利用者が減少したと考えられる。
指標2	歩行者及び自転車通行量	人/日	9,400	9,700	9,747	確定 見込み ●	○	あり なし -	11,864	H27年 5月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	駐車場や自転車駐車場の整備により、地区周辺や遠方からの来訪者が増加し、それに伴い、歩行者や自転車の通行量も増加した。
指標3	奥の細道むすびの地周辺地区来訪者数	人/年	41,045	100,000	336,719	確定 見込み ●	○	あり なし -	247,768	H27年 6月	○	評価値は奥の細道むすびの地記念館の開館年度の実績値であり、興味関心度が高く、来訪者が多かった。 <input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	観光情報誌等による奥の細道むすびの地記念館及びイベント開催情報のPRや、駐車場、道路、修景の整備による施設の魅力やアクセシビリティの向上によって、来訪者が増加した。
指標4						確定 見込み		あり なし		H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
指標5						確定 見込み		あり なし		H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	イベント集客数	人/年	706,006	/	1,095,806	確定 見込み ●	/	/	1,023,350	H27年 6月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	地区内の駐車場、自転車駐車場、道路の整備によりアクセシビリティが向上したことや、修景の整備等による地区の魅力向上によって、イベント集客数の増加につながった。
その他の数値指標2			/	/	/	確定 見込み	/	/		H 年 月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標3			/	/	/	確定 見込み	/	/		H 年 月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)	実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項	
・成果を持続させるために行う方策	中心市街地の拠点性持続	大垣駅南街区市街地再開発事業を継続して実施した。	大垣駅南街区市街地再開発事業を継続事業として実施している。	事業計画に沿って事業を推進し、中心市街地の拠点性の持続を図る。
	観光客の誘客持続	・観光情報誌(水都旅(すいとりっぶ))の活用・充実により、観光施設等のPRを実施した。 ・中心市街地や奥の細道むすびの地記念館でのイベントを継続して開催した。	観光施設やイベント情報を広くPRしたことによって観光客の興味関心が向上し、継続開催のイベントと連動して、観光客の誘客持続につながっている。	今後も観光情報PRやイベント開催を継続する。
	地区の賑わいの持続	・中心市街地や奥の細道むすびの地記念館でのイベントを継続して開催した。 ・大垣駅南街区市街地再開発事業を継続して実施した。	・イベントの継続開催により、地区の賑わいは持続している。 ・大垣駅南街区市街地再開発事業を継続事業として実施している。	大垣駅南街区市街地再開発事業による、大垣駅周辺の住・生活環境の向上により、経常的な地区の賑わいの持続を図る。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	観光ボランティアガイドの案内人数増加	・観光ボランティアガイドに関する情報を観光情報誌(水都旅(すいとりっぶ))へ掲載した。 ・奥の細道むすびの地記念館、各観光案内所に観光ボランティアガイドのPRポスターを掲示した。 ・水都旅のHPにおいて観光ボランティアガイドに関する情報を掲載した。	観光情報誌やHP等で観光ボランティアガイドをPRしたものの、観光ボランティアガイドの案内人数の増加には至らなかった。	今後のまちづくり方策として、観光ボランティアガイドの案内人数増加を挙げたが、フォローアップの結果、観光ボランティアガイドの案内人数とイベント集客数(賑わい)との相関性は乏しいことが判明したことから、今後は、ガイドの案内人数ではなく、観光ボランティアガイド利用者(観光客)の意見を抽出し、まちづくりに反映させる。
	回遊路の歩行者数増加	大垣駅周辺の中心市街地を整備するため、大垣駅周辺地区都市再生整備計画を策定し、平成26年度より、大垣駅周辺地区の整備を開始した。	歴史的資源である美濃路の整備を実施し、案内看板の効果を高めることで、回遊路の歩行者数増加を図った。	事業計画に沿って事業を推進する。
	大垣駅周辺の交通の安全性向上	大垣駅周辺の中心市街地を整備するため、大垣駅周辺地区都市再生整備計画を策定し、平成26年度より、大垣駅周辺地区の整備を開始した。	道路整備により、車道と歩道の分離を明確にし、歩行者と車輛双方の交通の安全性を確保した。	事業計画に沿って事業を推進する。
	生活環境の向上	大垣駅南街区市街地再開発事業を継続して実施した。	大垣駅南街区市街地再開発事業を継続事業として実施している。	事業計画に沿って事業を推進する。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
観光ボランティアガイド利用者からの観光施設等への意見抽出及び反映	観光ボランティアガイド利用者から、観光施設等の魅力向上につながる意見を抽出し、今後のまちづくりに活用する。	—	意見抽出からまちづくりへの反映・活用に至るまでの仕組みの構築を図る。